

牛の異常産の発生を予防しましょう！

吸血昆虫が媒介する感染症の中には、流死産や奇形、虚弱子牛の産出等の集団発生をもたらすものがあります。

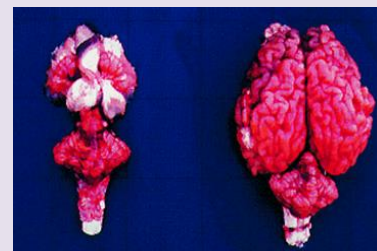
吸血昆虫が発生する前にワクチンを接種して、異常産の発生を防止しましょう。

牛に異常産をもたらす感染症

- 種類 : アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症等が知られており、近年はピートンウイルスが原因と考えられる異常産が九州・沖縄地方を始め中国地方でも報告されており、抗体保有状況から北海道以南で浸潤している可能性があります。
- 感染経路 : ヌカカ等の吸血昆虫が媒介します。
- 症状 : 母牛の感染時期により流産、胎児の体型異常等の奇形、死産等が見られ、体型異常があった場合には難産になることもあります。
アカバネ病では、ウイルスが子牛や育成牛に生後感染すると重篤な脳脊髄炎を発症することがあります。
- 予防法 : ワクチン接種による予防が効果的です。



体型異常(ピートンウイルス感染症)



左: 大脳欠損(アカバネ病) 右: 正常

【 異常産予防ワクチンの種類 】

	アカバネ病	チュウザン病	アイノウイルス 感染症	ピートンウイルス 感染症	価格
アカバネ病ワクチン	○	×	×	×	1,300円
3種混合ワクチン	○	○	○	×	1,850円
4種混合ワクチン	○ (生後感染にも有効)	○	○	○	2,200円

H30.4月
新規追加

- * 3種及び4種混合ワクチン: 初めて投与する牛は2回の基礎接種が必要です。
- * ワクチン接種は(公社)京都府家畜畜産物衛生指導協会が実施します。
- * 予防接種は、ヌカカの発生が予想される時期までに行います。
- * 詳しくは山城家畜保健衛生所にお問い合わせ下さい。